

議会だより



総務文教常任委員会



環境厚生常任委員会

令和7年度 市民と議会の意見交換会

5月11日(日)にいいき情報センターにて市民と議会の意見交換会を開催しました。市民の皆様にはお忙しい中ご参加いただき、議員一同感謝申し上げます。意見交換会では、多くの貴重なご意見をいただくことができました。アンケート結果等の記事は35ページに掲載しています。



建設経済常任委員会

9月定例会の日程(予定) 会議の開始時刻は午前10時からです

日	月	火	水	木	金	土
8/24	25	26	27	28	29	30
					本会議 市長提案 理由説明	
31	9/1	2	3	4	5	6
		本会議 質疑・委員会 付託		総務文教 常任委員会	環境厚生 常任委員会	
7	8	9	10	11	12	13
	建設経済 常任委員会		本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問 (予備日)	
14	15	16	17	18	19	20
	敬老の日		決算特別 委員会	決算特別 委員会	決算特別 委員会 (予備日)	
21	22	23	24	25	26	27
	本会議 委員長報告・質疑 討論・採決	秋分の日				

議会を傍聴してみませんか

本会議は51人、委員会は12人まで傍聴できます。議会のライブ配信も行っています。詳しくは議会事務局までご確認ください。



市議会HP



市議会ライブ配信

6月定例会レポート	26P
議決結果一覧	28P
一般質問(個人質問)	29P
行政視察報告	34P
史跡地活用に係る要望書を提出、意見交換会 報告、全国市議会議長会表彰	35P
政務活動費収支報告	36P

○令和7年第2回定例会（令和7年5月29日～6月19日） 会期22日間

○報告

- ◆令和6年度 一般会計予算の繰越額が確定しました。
翌年度繰越額：3億7,196万2千円《報告第2号》
- ◆令和6年度 水道事業会計の繰越額が確定しました。
翌年度繰越額：7,404万円《報告第3号》
- ◆令和6年度 下水道事業会計の繰越額が確定しました。
翌年度繰越額：1,943万円《報告第4号》
- ◆令和6年度 太宰府古都・みらい基金の運用状況
令和6年度は3,121,984円を積み立てました。基金残高は17,453,009円になりました。《報告第5号》
- ◆道路陥没による車両損傷事故の損害賠償額の決定
相手方と協議を行い、損害賠償額（13,958円）を支払うことで合意に至りました。《報告第6号》

○人事

筑紫公平委員会委員に、田中哲也^{たなかてつや}氏を選任することに同意しました。《議案第26号》

同意

○専決処分

地方税法等の改正に伴い以下の条例を改正しました。

- ◆太宰府市税条例の一部を改正しました。《議案第27号》
- ◆太宰府市都市計画税条例の一部を改正しました。《議案第28号》
- ◆太宰府市国民健康保険税条例の一部を改正しました。《議案第29号》

承認

承認

承認

○市道認定

開発により帰属を受けた坂本地区7路線について、路線認定をおこないました。《議案第30号》

可決

○条例改正・制定

- ◆太宰府市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正
国が進める自治体情報システムの標準準拠システムへの移行に伴い、条例の一部を改正しました。《議案第31号》
- ◆太宰府市議会議員及び太宰府市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の改正
公職選挙法施行令の改正に伴い、選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスター作成に要する経費の限度額を引き上げました。《議案第32号》
- ◆太宰府市特別職の職員の給与等に関する条例の改正
国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正に伴い、選挙長等の報酬額を引き上げました。《議案第33号》
- ◆太宰府市いきいき情報センター条例の改正
自動券売機の更新により、所要の改正を行いました。《議案第34号》
- ◆太宰府市税条例の改正
地方税法等の改正に伴い、市税条例を改正しました。《議案第35号》

原案可決

原案可決

原案可決

原案可決

原案可決

◆太宰府市水道事業給水条例の改正

建設業法施行令の改正に伴い、条例を改正しました。《議案第36号》

原案可決

◆太宰府市小規模・中小企業振興条例の制定

小規模・中小企業の振興を図り、地域経済の持続的な発展及び市民生活の向上に寄与することを目的とした条例を制定しました。《議案第37号》

原案可決

○意見書

◆再審法改正の促進を求める意見書

冤罪被害者を早期に救済するために、国に対して再審法改正の促進を求めるものです。《意見書第1号》

否決

◆生活保護の住宅扶助基準額引き上げを求める意見書

民間賃貸住宅の家賃上昇が続いていることから、国に対して生活保護における住宅扶助基準額の引上げを求めるものです。《意見書第2号》

否決

○議員発議

◆太宰府市議会委員会条例の改正 《発議第2号》

原案可決

◆太宰府市議会会議規則の改正

常用漢字の変更に伴う字句及び運営上の支障となる条文を整理し見直しを行いました。《発議第3号》

原案可決

○財産の取得

小中学校教育用端末（7,245台：3億9,485万円）を購入しました。《議案第42号》

可決

○令和7年度一般会計補正予算（第1号）

◆歳入・歳出それぞれ6億2,347万2千円を追加しました。《議案第38号》

原案可決

費目	補正予算額	主な事業と予算額
社会福祉費	5億8,091万4千円	定額減税補足給付金 5億6,000万円 令和6年度に実施した国の定額減税等において、それでもなお不足が生じる方に対して追加で給付を行います。
児童福祉費	1,757万5千円	不足が見込まれる母子生活支援施設への入所費用です。
保健衛生費	500万円	今後不足が予想される、65歳以上（令和7年3月末時点）の高齢者世帯へのエアコン購入一部助成費用です。
道路橋梁費	650万円	西鉄バス星ヶ丘線の減便に伴い、代替交通（10人乗り車両）の運行を実施するための補助費用です。

○令和7年度一般会計補正予算（第2号）

◆歳入・歳出それぞれ1億8,779万8千円を追加しました。《議案第43号》

原案可決

費目	補正予算額	主な事業と予算額
清掃費	1億8,779万8千円	火災で損傷した美化センターの施設改修費と、施設が復旧するまでの不燃物の処理委託費です。

以上により、歳入・歳出予算それぞれの総額は、345億6,062万1千円になりました。

火災の原因として、リチウムイオン電池がほかのゴミと一緒に
出されたことが考えられます。
使用済みの電池は回収ボックスへの分別にご協力ください。



6月定例会 全会一致で可決した議案

議案番号等	案件名	議決結果
報告第 2号	令和6年度太宰府市一般会計予算繰越明許費について	—
報告第 3号	令和6年度太宰府市水道事業会計予算繰越について	—
報告第 4号	令和6年度太宰府市下水道事業会計予算繰越について	—
報告第 5号	令和6年度太宰府古都・みらい基金の運用状況について	—
報告第 6号	専決処分の報告について(道路陥没による車両損傷事故の損害賠償の額の決定)	—
議案第26号	筑紫公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
議案第27号	専決処分の承認を求めることについて(太宰府市税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第28号	専決処分の承認を求めることについて(太宰府市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第29号	専決処分の承認を求めることについて(太宰府市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第30号	市道路線の認定について	可決
議案第31号	太宰府市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第32号	太宰府市議会議員及び太宰府市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第33号	太宰府市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第34号	太宰府市いきいき情報センター条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第35号	太宰府市税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第36号	太宰府市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第37号	太宰府市小規模・中小企業振興条例の制定について	原案可決
議案第38号	令和7年度太宰府市一般会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第39号	令和7年度太宰府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第40号	令和7年度太宰府市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第41号	令和7年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第42号	財産の取得(小中学校教育用端末)について	可決
議案第43号	令和7年度太宰府市一般会計補正予算(第2号)について	原案可決
発議第 2号	太宰府市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決
発議第 3号	太宰府市議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決

6月定例会 賛否の分かれた議案

議案番号等	案件名	議決結果	公明党		宰光			新風		市民ネット		市民の声		未来のまち		無会派		
			小島真由美	堺剛	陶山良尚	原田久美子	入江寿	船越隆之	門田直樹	今泉義文	徳永洋介	森田正嗣	長谷川公成	橋本健	木村彰人	馬場礼子	笠利毅	神武綾
意見書第1号	再審法改正の促進を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	※	×	※	○	×	×	○	○	○	○
意見書第2号	生活保護の住宅扶助基準額引き上げを求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	※	×	※	○	×	×	○	○	○	○

※門田直樹議長は本会議における過半数議決では表決権を有しません。

(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×で表しています)

また、徳永洋介議員はやむを得ない理由により欠席でした。

※以下の会派名について、一部省略して記載しています。

市民ネット：太宰府市民ネット 市民の声：太宰府市民の声 無会派：会派に所属していない議員

どうなっとうと? 個人質問

どうなっとうと?個人質問

一般質問(個人質問)とは、事務の執行状況や将来の方針、政策的提言や行政の課題などを執行機関に直接質問することです。

6月13日、16日の二日間で13人の議員が一般質問を行いました。

全質問項目

議員名	全ての質問項目	ページ	議員名	全ての質問項目	ページ
長谷川公成	中学校部活動の中体連出場について	29	船越 隆之	第3期太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略(太宰府市続まちづくりビジョン)について	31
馬場 礼子	通学路沿いの竹林(倒竹)の危険性とその対策について	30	小島真由美	市庁舎周辺の駐車場整備について	32
神武 綾	民泊に関する市の対応について	30	小島真由美	猛暑から子どもや高齢者を守るための取組みについて	32
	中小企業支援について		堺 剛	本市のスマート自治体への取り組みについて	32
	山火事対策について		堺 剛	まち・ひと・しごと創生総合戦略について	32
原田久美子	教員の心と体を守る働き方改革について	30	森田 正嗣	避難行動要支援者名簿と個別避難計画について	32
	野良猫への餌やり禁止条例について		森田 正嗣	高齢者の権利擁護支援について	32
木村 彰人	令和2年度小中学校の入学式について	31	陶山 良尚	子どもの権利条例の制定について	33
	第3期太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略(新戦略)の策定過程について		笠利 毅	バス路線の保持とデマンド交通について	33
	第3期太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略(新戦略)に定める施策の実効性について		笠利 毅	今後のコミュニティバスについて	33
橋本 健	市民政庁まつりについて	31	今泉 義文	教育版マイクラフトの導入について	33
	フードトラック社会実証実験について		今泉 義文	対話型AI「ChatGPT」の業務活用について	

会議の録画映像の配信を行っています。質問者のページに表示している二次元バーコードから、録画映像にアクセスできます。

A ①部活動の引率業務は学校長判断により、教育委員会は、校長会で決めた通知内容の報告を受けています。②三者協議は行っていません。

③中体連に出場できなくなるような事態を避けるための対応が必要だが見解を伺う。

Q 市内4中学校は、学校に部活動がない競技で中体連に出場する生徒を引率する教師の派遣を見送るとの通知を出した。

学校、保護者、外部指導者の三者協議を行った上で、内容が通知されるべきであり、不信感を覚えることから3点伺う。

①この校長会の決定を教育委員会は承知していたのか。
②中体連に出場するため外部指導者と保護者、学校の協議は行われたのか。
③中体連に出場できなくなるような事態を避けるための対応が必要だが見解を伺う。

せん。民間事業者の指導者と学校の協議は行われたと報告を受けています。個別に保護者へ電話説明を行った学校もあります。

③生徒は、学校部活動で参加するか、地域クラブで参加するかを選ぶことになります。地域クラブからの参加を希望する生徒も全員出場できるように、共通理解を図り調整を進めます。



長谷川公成 議員

問 中体連の引率には万全を期すように





馬場 礼子 議員



問 石坂地区通学路の竹林(倒竹)対策は

Q 石坂の通学路沿いに位置する県道において、高さ約4メートルの法面上部に繁茂する竹林について、10年以上前から地元自治会からも何度も危険性が指摘されている。しかし、対策等が進んでいない状況を踏まえ4点伺う。

- ① 本件に関する現状認識と対応状況は。
- ② 複雑な土地所有形態の対応と長年進展しない理由。
- ③ 市が取り組まれた対策は。
- ④ この件について市長の見解と方針は。

A ①市として独自でパトロールを行い、異常があれば県道管理者である那珂県土整備事務所に報告し、必要に応じて倒竹の撤去を行っています。

②道路管理者に対し、土地所有者に対する適正管理の指導を要望しています。進展しない主な原因は、土地所有の境界や高所面での伐採作業が難しく維持管理が容易でない状況と考えます。



落下寸前の竹

③地元自治会等の協力により、独自のパトロール、倒竹などの通報とともに可能な範囲の応急対応を実施しています。

④引き続き県道管理者と緊密に連携を図りながら、通学路はじめとする道路空間の安全確保に努めていきます。



神武 綾 議員



問 中小企業支援の充実に向けて

Q 太宰府市小規模・中小企業振興条例の制定により、市内小規模・中小企業に対する支援、また、事業者の地域貢献などが期待されていることから3点伺う。

- ① 素案作成の会議体、検討内容など、どのような経過をたどったのか。
- ② パブリック・コメントなどが条例案にどのような生かされているのか。
- ③ 中小企業者の事業支援がさらに充実されていくと考えるが見通しは。

A ①「福岡県中小企業振興条例」や他市町の企業振興条例について情報収集をするともに、調査研究を経て、産業振興課において素案を作成しました。素案を基に、商工業者から複数回の意見聴取や検討会議を経て、修正等を重ね、パブリック・コメント前の素案の作成に至りました。

②ご意見を基に一部素案を修正しています。また、条例制定後の施策に関するご要望もいただいています。

③小規模企業等のニーズや市場の動向を見ながら支援内容を検討し、更なる支援施策の充実を図っていきます。



原田 久美子 議員



問 地域猫活動を支援して野良猫に関する苦情を減らそう

Q 野良猫に関する苦情・相談、ならびに以前の一般質問で取り上げた「餌やり禁止条例」について4点伺う。

- ① 野良猫への餌やり禁止条例に関する調査・研究の進捗状況。
 - ② 野良猫に関する苦情・相談の件数。
 - ③ 市民からの相談に対する対応状況。
 - ④ TNR活動(※)に対する本市の見解。
- ※TNR活動…Trap(捕獲)、Neuter(不妊・去勢)、Return(元の場所に戻す)の略。
- ① 野良猫に関する苦情・相談の件数は、令和6年度が13件、令和5年度が19件、令和4年度が30件、令和3年度が30件、令和2年度が30件、令和1年度が30件、令和0年度が30件、令和元年度が30件、令和2年度が30件、令和3年度が30件、令和4年度が30件、令和5年度が30件、令和6年度が13件と、餌の主ないない猫にと、餌の主ないない猫に対する不妊・去勢手術費の補助を開始して以降、着実に減少しています。
- ② 無責任な餌やりの禁止、室内飼育の推奨、不妊・去勢手術の実施などについて、助言・指導を行うとともに、ホームページ等を通じて猫の適正飼養に関する啓発を行っています。
- ④ 市民によるTNR活動を支援し、地域住民が主体となって取り組む地域猫活動へと発展するよう、今後も推進していきます。

A ①他自治体の条例制定状況を調査しました。その効果には様々な捉え方があり、本市における導入効果などを検討していきます。

② 苦情件数は、令和4年度が30件、令和5年度が13件、令和6年度が13件と、餌の主ないない猫にと、餌の主ないない猫に対する不妊・去勢手術費の補助を開始して以降、着実に減少しています。



不妊・去勢手術が終わった猫の耳先をカットして、猫の性別がわかるようにします。



木村 彰人 議員

問 新戦略の策定過程と市民意見の反映は



Q 新戦略策定過程に關して3点伺う。
①パブリック・コメントの実施状況と、意見をどう反映されたか。
②新戦略策定過程において、議会での審議が行われなかったことに関する市長の見解は。
③新戦略の市民への公表状況と今後の情報発信について

A ①パブリック・コメントを実施し、7人から計21件の意見をいただき、子育て支援の拡充事業に關し結婚支援の充実を図る旨修正を加え、また、ネーミングライツ導入施設の数目標数を2か所から5か所に上方修正しました。
②議会連絡会で素案提示・報告を行い、一般質問や施政方針を通じ説明を行ってきました。また、施策評価での効果検証も行い、市民・議会の意見を反映し、総合戦略推進委員会の承認を得て策定しました。今後も、議会と連携し市政を推進する方針です。
③新戦略は、4月上旬に市ホームページへ全文掲載しており、今後は広報ださいふなどで概要等を掲載予定です。更に機会を捉え市民へ分かりやすい情報発信を心がけていきます。



本市の総合戦略



橋本 健 議員

問 市民政庁まつりを全国区のまつりへ変貌させたい



Q 市民によるまちづくりの一環として38回開催されてきた市民政庁まつりを2日間開催できないか。初日は、公募で市民参加を大いに募り古代衣装をまとった行列で天満宮から政庁前まで練り歩き、梅花の宴を再現。夕方には有料開催の「薪能」で太宰府らしさを演出する前夜祭を行う。2日目は、舞台・飲食・物販など魅力ある内容を全国的に発信し経済効果を図り、各出店ブースから使用料として売上の10%徴収することを提案するが見解を伺う。

A 市民政庁まつりは市民によるまちづくりの一環として、文化協会、商工会、自治協議会をはじめ各関係団体とともに実行委員会主催で開催されています。1300年前から変わらぬ山の稜線を天然の背景にした会場でのお祭りは、国を代表する悠久の歴史や文化を感じる「令和の都ださいふ」ならではの風景です。その風景を生かした催しは大変有意義で、開催日数、使用料も含め今後、実行委員会で検討を加えていただくとになると考えています。



第38回太宰府市民政庁まつりの様子



舩越 隆之 議員

問 西鉄五条駅周辺整備のビジョンは



Q 総合戦略の施策「ニューださいふ型市街地の活性化」に定める西鉄五条駅周辺の整備促進事業の推進について、西鉄五条駅周辺の活性化に向け、持続可能な都市構造へ転換を図り「コンパクトなまちづくり」を実現するための事業を推進するに当たって、市としてどのようなビジョンを描いて臨まれるのか伺う。

A 立地適正化計画素案では、西鉄五条駅周辺を本市の活力とにぎわいの中心拠点と位置づけ、都市機能の誘導や居住環境の形成を図るとしています。
第3期総合戦略では、五条駅周辺に立地する公共施設の再編を含めた調査を進め、持続可能な都市構造への転換を図るとしています。

自然・文化・歴史を維持・保存する一方で、めり張りのある成長を遂げていく都市計画にも力を入れなければならないと認識しています。





問 子どもや高齢者を守る
施策を

おばた まゆみ
小畠 真由美 議員



Q 猛暑から子どもや高齢者を守るための対策について5点伺う。

①公共交通の充実の今後の見通しは。また、バス停に上屋（屋根）設置を検討すべきと考えるが見解は。

②バス通学児童の安全と熱中症対策は。

③夏場、乳幼児と保護者が日曜日に室内で遊べる場所を提供すべきと考えるが見解は。

④エコタウンとして、マイボトルに水を補給できる給水スポットを設置できないか。

⑤エアコン購入費補助事業の増額補正を計上されているが、高齢者が安価に購入できるよう、省エネラベルの条件緩和を検討すべきと考えるが見解は。

A ①西鉄と協議し、星ヶ丘線は令和8

年3月末まで継続運行しています。また、デマンド交通実証実験に向けて準備を進めています。バス停上屋の設置可能性の調査研究を行います。

②児童を校内の教室で待たせ、乗車時刻に合わせて下校指導を行っています。

③市内に2か所託児室を開放しています。新たな施設についても公共施設再編の中で検討していきます。

④熱中症対策や廃プラスチック等の環境問題への対応など、他市の状況も注視しながら調査研究を行います。

⑤省エネラベルの条件緩和については、制度の在り方を含め調査研究していきます。



問 スマート自治体への
取組状況は

さかい つよし
堺 剛 議員



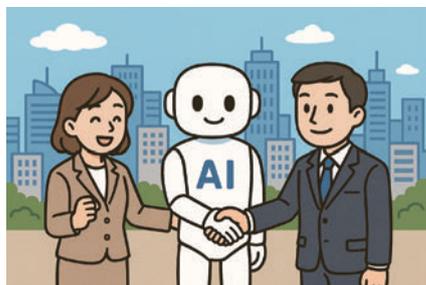
Q 「自治体システム標準化」に関する本市の取組について3点伺う。

①自治体情報システムの導入の可否と進捗について

②デジタル田園都市国家構想に対し、本市の市民サービス向上へ向けたデジタル化をどのように進めていくのか。

③住民サービス向上や行政サービスの効率化の観点からスマート自治体への展望が必要になると考えるが見解は。

A ①標準化法の対象としている基幹業務システム、20業務全てを標準準拠システムへ移行する予定です。進捗に関しては、令和5年12月に法律や移行計画を策定し、本年6月には住民基本台帳、印鑑登録システムが標準準拠システムへ移行する予定です。



②国の支援制度などを活用して外部の専門家のアドバイスを受けるなどし、市民サービス向上を図ります。

③国の「自治体DX推進計画」を踏まえ、本市の実情に合う「人にやさしいデジタル化」の実現に向け、デジタル化を推進する各種施策に取り組んでいきます。



問 避難行動要支援者名簿と個別避難計画の現状と今後の取組み

もり たつとく
森田 正嗣 議員



Q 令和3年の災害対策基本法改正により、避難行動要支援者の円滑かつ迅速な避難を図る観点から、個別避難計画について市町村に努力義務化が打ち出されている。そこで、避難行動要支援者名簿作成と個別避難計画作成の現状と、その進捗状況をどのように把握されているか伺う。

A 本市では、平成26年度に避難行動要支援者名簿を作成し、自治会へ配布しました。令和3年の災害対策基本法の改正により、個別避難計画の作成が努力義務となったことから、各自治協議会はじめ関係団体への制度説明や申請書発送を行い、令和5年12月に名簿を更新しています。令和7年4月1日時点で対象者は、9302人、名簿掲載同意者は1550人、そのうち、個別避

難計画の作成同意者は1454人、実際に作成済みは504人です。今年1～2月には全44自治会を対象に聞き取り調査を実施し、課題把握と情報共有を行い、「災害時に誰一人取り残さない」を目標に取り組んでいます。





問 子どもの権利条例に
どう取り組むのか

陶山 良尚 議員



Q 子どもの権利条例の制定について3点伺う。

①令和7年2月より子どもの権利条例検討部会による協議が開始されたが、どのような経緯で本条例の策定に取り組むこととなったのか。
②検討部会の委員はどのようにに選定されたのか、また、今後の協議はどのようにに進めていくのか。
③条例の策定には、さまざまな課題や高いハードルがあると考えるが、改めて本条例に対する市長の見解を伺う。

④差別的なく命が守られ、子どもの意見が尊重されること、そして子どもにとって最善の利益を図ることが条例の基本的な考え方です。

A ①本市は「子どもまんなかの施策展開」を推進しており、条例制定を求める議員からの一般質問や条例の制定を求める要望書も提出されていることから、本条例の策定へ向け検討することになりました。

②子どもの権利に関する



問 地域公共交通の維持を

笠利 つよし 議員



Q 西鉄バス星ヶ丘線の沿線の住民は、バス路線がなくなってしまうことに心配を抱えている。10月からバスが減便される一方、デマンド交通の実証実験が今年度実施されるという。バス路線とデマンド交通をうまく併用すべきだと考えている。

10月以降、バスはどのように運行され、デマンド交通の実証実験をどのように行うのか。また、住民にどのように周知していくのか伺う。

①デマンド交通の実証実験は、早期の実証運行開始を目指して取り組みを進めていきます。

A 本年10月以降、1台のバスを1人の運転手で運行できるよう考慮したダイヤの検討がなされ、西鉄から一定の減便が示されています。特に昼間の時間帯に連続した交通空白が生じるので、本年度中、激変緩和のための緊急的な代替交通の検討を行い、その費用を本定例会で補正予算として計上しています。

デマンド交通の実証実験に向けては、星ヶ丘線沿線や周辺地域など、ニーズが高いエリアを選定し、早期の実証運行開始を目指して取り組みを進めていきます。



問 マインクラフトを
教育に活かそう

今泉 義文 議員



Q マインクラフトは世界中で人気があるゲームで、すべてが四角いブロックでできた世界の中で自由に建築や冒険を楽しめる。学校現場でも技術・家庭・数学などの教科やプログラミング教育で活用され、また不登校や特別な支援を要する児童生徒にも有効な学習ツールとなっており、官公庁が支援する大会も開かれているため3点伺う。

①マインクラフトの教育効果。
②他自治体の導入事例とその評価。
③本市での導入可能性と検討状況。

①マインクラフトは支援教育においても効果を発揮しています。②環境整備と指導者の存在が課題とされてきましたが、環境整備は進んでいます。長野市では不登校支援に活用されており、子どもたちのモチベーションを引き出すツールであると言えます。

A ①プログラミング教育の教材として着目されたマインクラフトですが、子どもたちの創造性、コミュニケーションの活性化、協働性も養われるとされ、特別

が現状の課題です。



総務文教常任委員会

- ◆5月8日 愛知県高浜市 高浜小学校等整備事業について
- ◆5月9日 愛知県半田市 部活動地域移行と総合型地域スポーツクラブについて

高浜市は、小学校と公共施設を複合化し、教育・福祉・地域交流の拠点として再構築することで、放課後の児童の居場所、多世代交流、施設間連携を実現し、効率的な運用が図られました。また、PFI事業を活用し、財政支出の平準化を実現しています。

半田市は、令和6年9月より、中学校部活動の土日活動を地域へ移行し、総合型地域スポーツクラブ等と連携した体制を構築しました。教員の負担軽減と、地域の担い手育成を目的に、独自の補助制度や施設利用調整などの制度設計が進められています。今後の課題は、指導者の確保と、団体運営体制の強化を図るとのことです。



高浜市での視察の様子

環境厚生常任委員会

- ◆5月15日 沖縄県北谷町 北谷町避難行動要支援者名簿と個別避難計画について
- ◆5月16日 沖縄県那覇市 異動受付支援システムについて

北谷町では、令和3年度の「北谷町地域防災計画」見直しと「北谷町地域福祉計画」の同時期策定を機縁として、避難行動要支援者名簿の作成・活用と個別避難計画の作成について明確な町の方針を打ち出し、その後の条例制定を背景に実施に踏み切られました。避難行動要支援者名簿の作成では、本人の手上げ方式をとらず、拒否を示された方を名簿登録しない方式をとられたので、早い段階で名簿整備できたとのことでした。

那覇市では、住民異動窓口における課題解決のためにシステムを導入されました。導入前の課題としては、市民の異動届・他申請書等への記入負担が大きい、待ち時間が長い、窓口受付件数が毎年増加しているので書庫の編綴・保管・管理の負担が大きい、職員の業務負担が大きいといったものがあつたとのことでした。

改善が必要なところもあるそうですが、導入後は、記入負担の軽減、待ち時間の短縮、業務負担の軽減につながったようで、令和4年の市民アンケートでは、満足度100%とのことでした。



北谷町での視察の様子

建設経済常任委員会

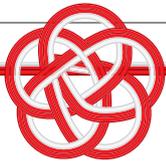
- ◆5月14日 佐賀県唐津市 唐津市DXイノベーションセンターについて
- ◆5月15日 長崎県松浦市 松浦産業振興ビジョンについて
道の駅（海のふるさと館）について

唐津市DXイノベーションセンターは、コロナ禍の影響で変化した消費者行動やマーケットに対応する必要に直面する市内事業者の経営課題をデジタル技術で解決し、生産性を上げる支援をするため、令和4年7月に開設されました。時宜を得た事業は成果を上げ、現在はスタートアップ支援に軸足を移しつつ、当初の予定期間を越えて事業を継続しています。

松浦市の産業ビジョンは、大幅な人口減少という現実の中で「中小企業振興会議」が中核となって策定から評価を行うという意欲的な体制をとっています。アジフライで知られる松浦市の海のふるさと館は、道の駅にありがちな空間の無駄を排し、市域を越えた地域の産品を積極的に扱っています。合理的な健全経営で、目標のパート従業員時給5000円に近づいています。



唐津市での視察の様子



史跡地活用に係る要望書を議会から市長へ提出しました



左から、神武副委員長、舩越委員長、門田議長、楠田市長、原口副市長

8名で構成された史跡地活用調査研究特別委員会では、これまで行政視察を含む6回の委員会と9回の協議会を開催し、令和7年6月16日に「太宰府市の史跡地活用に係る要望書」を議長とともに市長へ提出しました。

史跡地活用調査研究特別委員会

委員長 舩越隆之 副委員長 神武綾
委員 橋本健、原田久美子、堺剛、徳永洋介、木村彰人、今泉義文

※上記要望書の内容については、市議会のホームページにてご覧いただけます。



意見交換会の報告

令和7年5月11日、いきいき情報センター2階にて「市民と議会の意見交換会」を開催し、開会行事から各常任委員会の分科会に至るまで、延べ109名の皆さまにご参加いただきました。

アンケートでは、市議会に「関心がある」方が96%いた一方で、「議会の傍聴経験」がある方は46%、「意見交換会の参加経験」がある方は50%にとどまりました。

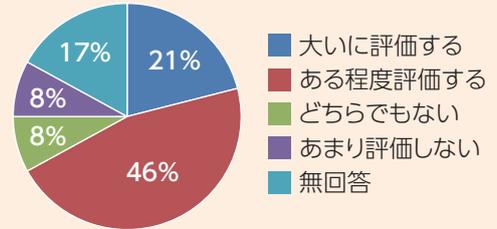
こうした結果から、みなさんの関心を行動につなげるための、さらなる工夫が必要であると考えます。

また、本会を「評価する」と答えた方は67%でした。(グラフを参照)

今後はより多くの方にご評価いただけるよう努めてまいります。

開催結果等をまとめた報告書を市議会ホームページで公開しています。ぜひ、ご覧ください。

今回の意見交換会について評価されますか？



全国市議会議長会から表彰されました

全国市議会議長会から原田久美子議員が在職15年以上、笠利毅議員、舩越隆之議員、徳永洋介議員、入江寿議員が在職10年以上により表彰され、また全国市議会議長会の産業経済委員会委員を務められた門田直樹議長に感謝状が贈られました。



後列左から入江寿議員、徳永洋介議員、笠利毅議員
前方左から舩越隆之議員、門田直樹議長、原田久美子議員

政務活動費 収支報告

会派または個人	支給額(円)	支出額(円)	市返還金(円)	執行率(%)
公明党 (小畠真由美、堺剛)	600,000	145,840	454,160	24.3
宰光 (陶山良尚、原田久美子、入江寿)	900,000	659,670	240,330	73.3
新風 (船越隆之、門田直樹、今泉義文)	900,000	419,000	481,000	46.6
太宰府市民ネット (徳永洋介、森田正嗣)	600,000	496,032	103,968	82.7
太宰府市民の声 (長谷川公成、橋本健)	600,000	598,002	1,998	99.7
未来のまち (木村彰人、馬場礼子)	600,000	152,504	447,496	25.4
笠利 毅	300,000	176,793	123,207	58.9
神武 綾	300,000	131,921	168,079	44.0
タクスキッド ※令和6年10月15日失職のため 令和6年11月から令和7年3月分返納	175,000	0	175,000	0.0
合 計	4,975,000	2,779,762	2,195,238	55.9

政務活動費は議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、会派または議員に対して交付されるものです。

太宰府市議会では、1人当たり月額2万5千円が交付されています。

今後とも、政務活動費を有効に活用し、調査・研究を市民の皆さんに還元するとともに、市政発展のために生かしていきます。

支出の領収書は市のホームページで公開しています。



◆編集後記◆

深夜に義母の咳が止まらず#7119に相談して救急車を呼んだ。大事な。ただ食欲が戻らない。薬の影響？原因は入歯だった。確かにその予兆はあった。

要介護の母の現状では、こちらが日頃を記録しておかないと異変には対処できない。

政治や社会でもそうだ。森友とか大川原化工機の事件では記録や情報が人の命を左右した。公権力の行使や意思決定には、正確な記録と恣意の介入を許さないオープンな仕組みが必要だ。

(毅)

発行責任者

議長
門田直樹

副委員長
原田久美子

委員
笠利毅

委員
堺剛

委員
馬場礼子

委員
今泉義文